

妻が夫を、親が子を或いはその逆、更には兄が妹を惨殺し、有ろう事かバラバラに切断して遺棄すると言う正に猟奇的な事件が頻発している。日本が狂い始めたと思えない。何故、このような事件が頻発するようなご時世になったのか。規範と言うか人間としての核を喪失してしまったかのようだ。教育再生会議で種々議論されているようだが、抜本的な対策が望まれる。勿論、学校教育のみにその責がある訳ではない。地域においても家庭においても為すべきことは多い。

さて、マスコミの論評を聞いていて、可笑しいと思うことがある。明らかに大衆に迎合し、否それ以上に大衆を煽っているのではないかと思える事象もある。

その様な異論ある二題について述べる。



(皇居二の丸庭園にて:木瓜と水仙)

1 狙いは条件作為

米ブッシュ大統領が米軍2万人強の増派を含む「イラク新政策」を日本時間11日午前11時に発表した。その骨子は以下の通りである。

- ①米軍2万1500人を一時的に増派
- ②イラク復興のため、11億6400万ドルを新たに拠出
- ③イラクでのイラン、シリアの影響力拡大を阻止
- ④イラクは米軍の協力の下武装勢力掃討を強化
- ⑤11月までにイラク治安部隊へ治安権限を委譲

このブ大統領の新政策に対して、失望感が日米を問わず広がっている。米民主党も懐疑的若しくは反対であり、日米の世論調査でも新政策に対して、「反対」が大きく「賛成」を上回っている。マスコミは正に鬼の首を取ったみたいに増強反対と口を揃えて合唱である。

米軍がイラクから撤収するためには、イラクの少なくとも治安が改善し、イラク自らが治安維持の能力を持つことが必要条件である。その必要条件を作為するために、一時的に米軍を増強して治安状況を改善することは当然の帰結であり、軍事常識である。また、これ以外の方策などあり得ない。勿論、米軍を増強したからと言って治安が改善される保証はない。されど、何としてでもそれを為さない限り米軍はすくすくと完全なる敗北者としてイラクから逃げねばならない。

宗派に係わらず徹底した武装勢力の一掃を図るべきである。米国の御得意(?)のダブルスタンダードは厳に採るべきではない。

マスコミは、米国のこのような考え・狙いを知らずか知っても頼被りをしてか「増強」と言う事象のみを取り上げて、非難する。大衆に俗受けする言葉を撒き散らしている。治安の改善などせずに直ちにイラクから撤収すべきであると言うのであろうか。それ

では全てを放擲してイラクから撤収せよと言うのか、それは無責任の誇りを免れない。反米傾向の強いマスコミ等はそれを望んでいるのではないかとしか思えない。

亦、今こそ、国際社会は軍事的な貢献は別としても他の支援によりイラクの復興により協力すべきではないのだろうか？ 非難するばかりではなく、如何に復興に寄与するかを真剣に議論すべきであり、提言すべき責任・使命がある。

2 悪平等主義の蔓延！

最近の公務員バッシングとも言うべき論調を見ていると、嘆かわしい限りである。公務員は、仕事もしないのに高い給料を貰っている、年金も民間に比較して優遇されている、都心の高級官舎に不当に安い料金で住んでいる等々枚挙に暇がないほどである。責任と義務と権限は三位一体であるべきであり、当然のことながらそれらに応ずる処遇も相応たるべきである。公務員の処遇が不当と言えるほどに優遇されているのだろうか。

公務員は国家社会の為に身を粉にして働いているのであるからしてある程度優遇されるのは当然であるべきだ、でなければ、優秀な人材を求むべくもなく何れは国家の活力も喪われてしまうだろう。今時、このような正論を言おうものなら猛反発を受けるだろう。民間と公務員の処遇が同じでなければならぬと言う理屈はない。

マスコミは、大衆の他人や公務員等の恵まれている者に対する嫉視を平等と言う誰しも反対や異論を言いにくい論理に衣替えさせて正当な論理であるかのように言い繕っているとしか思えない。これこそ欺瞞である。如何なる場合でも結果の平等を原則とすべきではない。機会の平等・均等は保証されるべきではあるが・・・。

誰しも、平和や戦争反対には反対し得ないが、それを声高に叫ぶばかりでは能がない。公務員、自衛官の地位や職務内容を正等に考慮した処遇が保証されるべきであり、それが当たり前の姿である筈だ。

格差社会の拡大が巷間言われているが、それが不当なまでの格差なのか、努力の報われた結果としての格差なのか、努力もしない者が努力した者と同じ結果を求めることを如何に考えるか、機会は平等であったのか、等々もっと中身を議論すべきであり、表面的な事象のみを取り上げて大衆を煽っているとしか思えない。

何れにしろ、本来社会の木鐸であるべきマスコミが、斯くの如き体たらくだから、日本の将来は危うい。反米を唱え、権力に抵抗し、大衆に媚を売ることによって己の存在感と部数や視聴率を稼ごうとしているようにしか見えない。本来の使命を忘れていないのか。